

有賀下村石造物群の庚申塔(塚)



有賀下村に8基の石碑。そのうち何と5基が庚申塔

西街道の「有賀下村」の信を登ったところにある豊田地区下村分館の下に20基ほど石造物が集められています。道路沿いには8基の石碑が並んでいます。そのうち何とら基が庚申塔(塚)です。いずれも文字碑です。旧暦では6日に一度、庚申の日が巡ってきます。

一方、人間には頭と半身、下半身に、それぞれ「巳」という虫がいて、庚申の夜、眠りにつくとその虫が体から出てきて天に昇り、その人の悪事を天帝に告げると言い伝えられてきました。その信仰を迷信と位置付けて撤去を進めたいです。それが、その人の寿命が尽きるというのです。どんなに悪いことをしても、その人の罪を洗い払ってくれるという青面金剛や猿田彦命を祀って、後には宴となった徹夜をしました。

⑤ いろいろ諏訪塾 江戸時代に流行した民間信仰

めしました。でも、この地の先人たちは守り抜いたのでしようか。庚申信仰が盛んであったことが徳化戸時代に大流行した民間信仰と言われています。

なお、「庚申三神」が下諏訪町の来迎寺にあります。諏訪地方では大変珍しい庚申塔(塚)です。随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局(電話70・83・23・2107)へ。
 いろいろ諏訪塾の冊子ができました。
 ・諏訪市観光案内所
 ・(JR上諏訪駅内)
 ・れすとらん割烹いずみ屋
 ・すね大昔情報センター
 (諏訪市諏訪)
 (諏訪市博物館内)
 で販売中です。



今回の筆者

小野川恵美子さん

外国人籍住民に日本語学習の支援をするボランティア「サークル」諏訪日本語教室」の代表を務めています。

